

センブリの成分研究（第3報¹⁾）トリテルペノイド及び フェノール配糖体について

菊地 正史, 菊地 正雄

Studies on the Constituents of *Swertia japonica* MAKINO III.
On the Triterpenoids and Phenol Glucoside

Masafumi KIKUCHI and Masao KIKUCHI

(Received November 22, 2004)

3 β -Hydroxy-11-oxoolean-12-en-28-oic acid, maslinic acid, hederagenin, 3 β -hydroxy-13(18)-oleanen-28-oic acid, erythrodil 3-O-palmitate, and 3-O- β -D-glucopyranosylbenzoic acid methyl ester were isolated together with reported triterpenoids, thysanolactone and oleanolic acid from the whole plants of *Swertia japonica* MAKINO. Their structures were determined on the basis of spectral data.

Key words — *Swertia japonica*; Gentianaceae; triterpenoid; phenol glucoside

著者らは先に、センブリ *Swertia japonica* MAKINO (Gentianaceae) から新規のセコイリドイド配糖体及びリグナン配糖体を単離し、それらの化学構造について報告した。^{1, 2)} 今回、更に他の成分を検索したところ、すでにセンブリから単離報告されている thysanolactone (**1**)³⁾ と oleanolic acid (**2**)^{4, 5)} の他に 5 種のトリテルペノイド (**3–7**) 及び 1 種のフェノール配糖体 (**8**) を単離することができたので、それらの構造について報告する。

前報²⁾ に詳述した MeOH エキスの CHCl₃, Et₂O, AcOEt, BuOH, H₂O 可溶部のうち、CHCl₃ 画分をシリカゲルカラムクロマトグラフィーに付して、トリテルペノイド **1**, **2**, **7** 及び **3–6** を得た。 **3–6** はトリメチルシリルジアゾメタンでメチル化後、分取 HPLC によりトリテルペノイドメチルエステル (**3a–6a**) を得た。 BuOH 画分からはシリカゲルカラムクロマトグラフィー及び分取 HPLC により 1 種のフェノール配糖体 (**8**) を得た。

化合物 **3a** は無晶形粉末として得られ、分子式は高分解能 (HR)-電子イオン化 (EI)-MS から C₃₁H₄₈O₄ と決定した。 ¹H-NMR スペクトルにおいては、7 個の第 3 級メチル基のプロトン [δ_H 0.79, 0.91, 0.93, 0.94, 0.99, 1.09, 1.36 (each 3H, s)], カルボニル基に隣接したメチンプロトン [δ_H 2.32 (1H, s, H-9)], 二重結合に隣接したメチンプロトン [δ_H 3.01 (1H, dd, J = 12.8, 4.0 Hz, H-18)], 酸素官能基の付け根のメチンプロトン [δ_H 3.21 (1H, m, H-3)], カルボメトキシル基のメチルプロトン [δ_H 3.62 (3H, s, OCH₃)] 及びオレフィンプロトン [δ_H 5.64 (1H, s, H-12)] に基づくシグナルが認められる。

以上のことから、本化合物は methyl 3 β -hydroxy-11-oxoolean-12-en-28-oate と推定され、文献値 (¹H- 及び ¹³C-NMR スペクトル)^{6, 7)} との比較により同定した。

化合物 **4a** は、無晶形粉末として得られ、分子式は HR-EI-MS から C₃₁H₅₀O₄ と決定した。 ¹H-NMR スペクトルにおいては、7 個の第 3 級メチル基のプロトン [δ_H 0.72, 0.83, 0.90, 0.93, 0.98, 1.03, 1.13 (each 3H, s)], 二重結合に隣接したメチンプロトン [δ_H 2.86 (1H, dd, J = 13.4, 4.9 Hz, H-18)], 酸素官能基の付け根の 2 個のメチンプロトン [δ_H 3.00 (1H, d, J = 9.3 Hz, H-3), 3.67 (1H, m, H-2)], カルボメトキシル基のメチ

ルプロトン [δ_H 3.62 (3H, s, OCH₃)] 及びオレフィンプロトン [δ_H 5.28 (1H, m, H-12)] に基づくシグナルが認められる。

以上のことから、本化合物は methyl maslinate と推定され、文献値 (¹³C-NMR スペクトル)⁸⁾との比較により同定した。

化合物 **5a** は、[α]_D + 90° の無晶形粉末として得られ、EI-MSにおいて *m/z* 486 に分子イオンピーク (M⁺) が認められる。¹H-NMR スペクトルにおいては、6 個の第3級メチル基のプロトン [δ_H 0.72, 0.90, 0.90, 0.92, 0.96, 1.12 (each 3H, s)], 二重結合に隣接したメチンプロトン [δ_H 2.86 (1H, dd, *J* = 13.6, 4.0 Hz, H-18)], 酸素官能基の付け根のメチレンプロトン [δ_H 3.44 (1H, d, *J* = 10.3 Hz, H-23A), 3.73 (1H, d, *J* = 10.3 Hz,

H-23B)], カルボメトキシリル基のメチルプロトン [δ_H 3.62 (3H, s, OCH₃)], 酸素官能基の付け根のメチンプロトン [δ_H 3.65 (1H, m, H-3)] 及びオレフィンプロトン [δ_H 5.28 (1H, t, *J* = 3.7 Hz, H-12)] に基づくシグナルが認められる。

以上のことから、本化合物は hederagenin methyl ester と推定され、市販品より誘導した標品と直接比較しころ (TLC, ¹H- 及び ¹³C-NMR スペクトル)，完全に一致した。

化合物 **6a** は無晶形粉末として得られ、分子式は HR-EI-MS から C₃₁H₅₀O₃ と決定した。¹H-NMR スペクトルにおいては、7 個の第3級メチル基のプロトン [δ_H 0.76, 0.82, 0.89, 0.97, 0.99, 1.12, 1.23 (each 3H, s)], 二重結合に隣接したメチレンプロトン [δ_H 2.19 – 2.29 (4H, m, H₂-12, H₂-

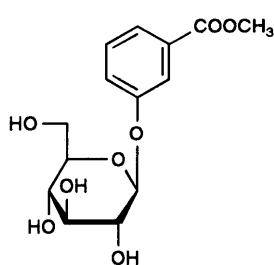
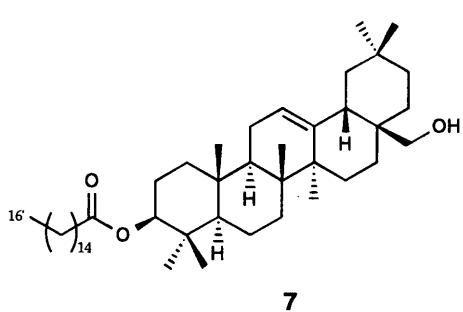
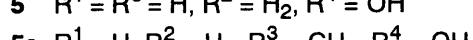
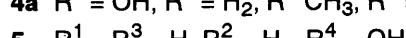
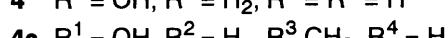
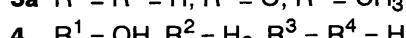
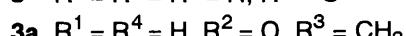
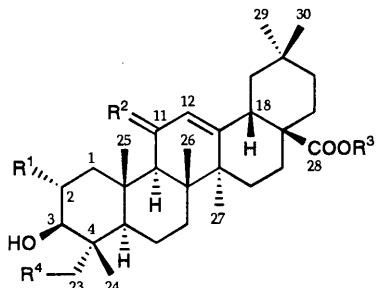
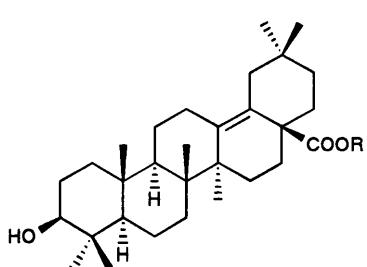
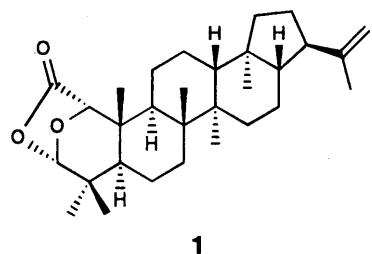


Chart 1

19)], 酸素官能基の付け根のメチレンプロトン [δ_H 3.19 (1H, m, H-3)] 及びカルボメトキシリル基のメチルプロトン [δ_H 3.67 (3H, s, OCH₃)] に基づくシグナルが認められる。EI-MSのフラグメンテーションにおいて、3位に水酸基を有するoleanane型トリテルペンのA, B環に由来するフラグメントイオンが m/z 207に認められる。また、D, E環に由来するフラグメントイオンは methyl oleanolate では m/z 189, 203, 249, 262に認められるが、**6a** では m/z 189, 203, 248, 262に強度の異なったイオンピークとして認められる。更に¹H-NMRにおいて、methyl oleanolate や化合物**3a**–**5a**で認められるオレフィンプロトン及び18位のプロトンが認められないことから、二重結合は13–18位間に四置換二重結合として存在していることが示唆される。

以上のことから、本化合物は3 β -hydroxy-13(18)-oleanen-28-oic acid methyl esterと推定される。⁹⁾ Caputoら⁹⁾は、3 β -hydroxy-13(18)-oleanen-28-oic acid は、おそらく oleanolic acid の分離過程における、酸触媒の異性化による artifact であると提言しているので、化合物**6a**も同様に artifact の可能性がある。

化合物**7**は、融点121–123°C, $[\alpha]_D + 45.9^\circ$ の無色針状晶として得られ、分子式はHR-EI-MSからC₄₆H₈₀O₃と決定した。¹H-NMRスペクトルにおいては、7個の第3級メチル基のプロトン [δ_H 0.865, 0.869, 0.875, 0.89, 0.94, 0.96, 1.16 (each 3H, s)], カルボニル基に隣接したメチレンプロトン [δ_H 2.29 (2H, t, $J = 7.3$ Hz, H-2')], 酸素官能基の付け根のメチレンプロトン [δ_H 3.22 (1H, d, $J = 11.0$ Hz, H-28A), 3.55 (1H, d, $J = 11.0$ Hz, H-28B)], 酸素官能基の付け根のメチレンプロトン [δ_H 4.50 (1H, dd, $J = 8.3, 5.6$ Hz, H-3)] 及びオレフィンプロトン [δ_H 5.19 (1H, m, H-12)] に基づくシグナルが認められる。

以上のことから、本化合物はerythrodiol 3-O-palmitateと推定され、標品と比較したところ (¹H- 及び ¹³C-NMRスペクトル),¹⁰⁾ 完全に一致した。

化合物**8**は、 $[\alpha]_D - 46.6^\circ$ 、無晶形粉末として得られ、FAB-MSにおいて m/z 315 [M + H]⁺ 及

び337 [M + Na]⁺の擬分子イオンピークが認められる。¹H-NMRスペクトルにおいては、カルボメトキシリル基のメチルプロトン [δ_H 3.98 (3H, s, OCH₃)], glucoseのアノメリックプロトン [δ_H 4.94 (1H, d, $J = 7.7$ Hz, H-1')], glucoseの6位のプロトン [δ_H 3.71 (1H, dd, $J = 12.1, 5.5$ Hz, H-6'A), 3.89 (1H, dd, $J = 12.1, 2.2$ Hz, H-6'B)], 4個のベンゼン環のプロトン [δ_H 7.35 (1H, ddd, $J = 8.1, 1.8, 1.1$ Hz, H-6), 7.40 (1H, dd, $J = 8.1, 7.7$ Hz, H-5), 7.67 (1H, ddd, $J = 7.7, 2.2, 1.1$ Hz, H-4), 7.72 (1H, dd, $J = 2.2, 1.8$ Hz, H-2)] が認められる。アグリコン部分を合成品の3-methoxybenzoic acid methyl esterと¹H- 及び ¹³C-NMRスペクトルで比較し、糖部は文献値¹¹⁾と ¹³C-NMRスペクトルで比較することにより、化合物**8**は3-O- β -D-glucopyranosylbenzoic acid methyl esterと決定した。本化合物は*Gliricidia sepium*からの単離報告があり,¹²⁾ また、センブリの培養根毛から類似化合物の5-(3'-O- β -D-glucopyranosyl)benzoylgentisic acidが報告されている¹³⁾のみで、化合物**8**が天然から単離された例は少ない。

以上、苦味健胃薬として用いられるセンブリの化学成分について検討を行い、6種の化合物の存在を新たに確認することができた。

実験の部

融点は柳本微量融点測定装置MP-S3型で測定(未補正)。旋光度は日本分光DIP-360型を用いて測定した。¹H- 及び ¹³C-NMRスペクトルは日本電子JNM-LA 600型(それぞれ、600及び150 MHz)及びJNM-LA 400型(それぞれ、400及び100 MHz)を使用し、内部標準物質にtetramethylsilaneを用いた。略語: s = singlet, d = doublet, dd = double doublet, dt = double triplet, ddd = double double doublet。EI-, HR-EI-MS 及び FAB-MS(正イオンモード、マトリックス: グリセリン)は日本電子JMS-DX 303型を使用し測定した。カラムクロマトグラフィーは、充填剤としてKieselgel 60 (Merck; 230–400 mesh) を用いた。分取HPLCはTosoh HPLC system (pump, CCPM;

detector, UV-8020 or RI-8020; column, TSKgel ODS-120T, 7.8 mm i.d. × 30 cm; column temp., 40 °C; flow rate, 1.0 mL/min) を使用し、以下の移動相を用いた。mobile phase-1, MeOH; mobile phase-2, MeOH – H₂O (9 : 1)。

抽出及び分離 前報¹⁾ に詳述した CHCl₃ 可溶部の 17.8 g をシリカゲルカラムクロマトグラフィー [CHCl₃ – MeOH (19 : 1 – 2 : 1)] に付し、Fr.1 – 105 に分画した。次に、Fr.5 – 8 から分取 HPLC (mobile phase-1) により、化合物 **1** (6.0 mg) を、Fr.25 – 30 から分取 HPLC (mobile phase-2) により、化合物 **2** (6.5 mg), **7** (5.5 mg) を単離した。次に、Fr.13 – 18 (6.9 g, ¹H-NMR でカルボメトキシル基のメチルプロトンシグナルを認めない) をトリメチルシリルジアゾメタンでメチル化後、シリカゲルカラムクロマトグラフィー [n-hexane – AcOEt (4 : 1) 及び CHCl₃ – MeOH (19 : 1 – 4 : 1)] に付して Fr.1' – 72' に分画した。このうち Fr. 37' – 45' から分取 HPLC (mobile phase-2) により、化合物 **3a** (0.3 mg), **4a** (0.5 mg), **5a** (0.5 mg), **6a** (0.1 mg) を単離した。

Methyl 3β-hydroxy-11-oxoolean-12-en-28-oate (3a) 無晶形粉末。HR-EI-MS *m/z*: 484.3545 (M^+ , Calcd for C₃₁H₄₈O₄; 484.3553)。¹H-NMR (600 MHz, CDCl₃) δ: 0.79 (3H, s, H₃-24), 0.91, 0.93, 0.94 (3H each, s, H₃-26, H₃-29, H₃-30), 0.99 (3H, s, H₃-23), 1.09 (3H, s, H₃-25), 1.36 (3H, s, H₃-27), 2.32 (1H, s, H-9), 2.83 (1H, dt, *J* = 13.6, 3.7 Hz, H-1A), 3.01 (1H, dd, *J* = 12.8, 4.0 Hz, H-18), 3.21 (1H, m, H-3), 3.63 (3H, s, OCH₃), 5.64 (1H, s, H-12)。¹³C-NMR (150 MHz, CDCl₃) δ: 15.6 (C-24), 16.2 (C-25), 17.4 (C-6), 19.0 (C-26), 23.0 (C-16), 23.4 (C-30 or C-27), 23.6 (C-27 or C-30), 27.3 (C-2), 27.8 (C-15 or C-23), 28.1 (C-23 or C-15), 30.7 (C-20), 31.6 (C-22), 32.9 (C-7, C-29), 33.7 (C-21), 37.3 (C-10), 39.12 (C-1 or C-4), 39.15 (C-4 or C-1), 41.6 (C-18), 43.5 (C-8), 44.3 (C-19), 45.0 (C-14), 46.2 (C-17), 51.9 (OCH₃), 55.0 (C-5), 61.8 (C-9), 78.8 (C-3), 128.0 (C-12), 168.6 (C-13), 177.5 (C-28), 200.2 (C-11)。

Methyl maslinate (4a) 無晶形粉末。HR-EI-

MS *m/z*: 486.3685 (M^+ , Calcd for C₃₁H₅₀O₄; 486.3709)。¹H-NMR (400 MHz, CDCl₃) δ: 0.72, 0.83, 0.90, 0.93, 0.98, 1.03, 1.13 (each 3H, s, H₃-23, H₃-24, H₃-25, H₃-26, H₃-27, H₃-29, H₃-30), 2.86 (1H, dd, *J* = 13.4, 4.9 Hz, H-18), 3.00 (1H, d, *J* = 9.3 Hz, H-3), 3.62 (3H, s, OCH₃), 3.67 (1H, m, H-2), 5.28 (1H, m, H-12)。¹³C-NMR (100 MHz, CDCl₃) δ: 16.6, 16.7, 16.9 (C-24, C-25, C-26), 18.4 (C-6), 23.1 (C-11), 23.5 (C-16 or C-30), 23.6 (C-30 or C-16), 26.0 (C-27), 27.7 (C-15), 28.6 (C-23), 30.7 (C-20), 32.4 (C-22), 32.6 (C-7), 33.1 (C-29), 33.9 (C-21), 38.3 (C-10), 39.2 (C-4 or C-8), 39.4 (C-8 or C-4), 41.3 (C-18), 41.7 (C-14), 45.9 (C-19), 46.4 (C-1), 46.7 (C-17), 47.9 (C-9), 51.5 (OCH₃), 55.3 (C-5), 69.0 (C-2), 84.0 (C-3), 122.2 (C-12), 143.9 (C-13), 178.3 (C-28)。

Hederagenin methyl ester (5a) 無晶形粉末。 $[\alpha]_D^{22} + 90^\circ$ (*c* = 0.050, MeOH)。EI-MS *m/z* (%): 486 (M^+ , 7), 262 (82), 303 (100)。¹H-NMR (600 MHz, CDCl₃) δ: 0.72 (3H, s, H₃-26), 0.90 (6H, s, H₃-24, H₃-29), 0.92 (3H, s, H₃-30), 0.96 (3H, s, H₃-25), 1.12 (3H, s, H₃-27), 2.86 (1H, dd, *J* = 13.6, 4.0 Hz, H-18), 3.44 (1H, d, *J* = 10.3 Hz, H-23A), 3.62 (3H, s, OCH₃), 3.65 (1H, m, H-3), 3.73 (1H, d, *J* = 10.3 Hz, H-23B), 5.28 (1H, t, *J* = 3.7 Hz, H-12)。¹³C-NMR (150 MHz, CDCl₃) δ: 11.4 (C-24), 15.7 (C-25), 16.9 (C-26), 18.5 (C-6), 23.1 (C-16), 23.4 (C-11), 23.6 (C-30), 26.0 (C-27), 26.9 (C-2), 27.7 (C-15), 30.7 (C-20), 32.4 (C-7), 32.5 (C-22), 33.1 (C-29), 33.9 (C-21), 36.9 (C-10), 38.1 (C-1), 39.3 (C-8), 41.3 (C-18), 41.7 (C-14), 41.9 (C-4), 45.9 (C-19), 46.7 (C-17), 47.7 (C-9), 50.0 (C-5), 51.5 (OCH₃), 72.2 (C-23), 76.9 (C-3), 122.3 (C-12), 143.8 (C-13), 178.3 (C-28)。

3β-Hydroxy-13(18)-oleanen-28-oic acid methyl ester (6a) 無晶形粉末。EI-MS *m/z* (%): 470 (M^+ , 51), 411 (17), 262 (35), 248 (23), 207 (55), 189 (80), 59 (100)。HR-EI-MS *m/z*: 470.3760 (M^+ , Calcd for C₃₁H₄₈O₄; 470.3760)。

CI-MS m/z 471 [M + 1]⁺, 453 [M - H₂O]⁺. ¹H-NMR (600 MHz, CDCl₃) δ: 0.76, 0.82, 0.89, 0.97, 0.99, 1.12, 1.23 (each 3H, s, H₃-23, H₃-24, H₃-25, H₃-26, H₃-27, H₃-29, H₃-30), 2.19 – 2.29 (4H, m, H₂-12, H₂-19), 3.19 (1H, m, H-3), 3.89 (3H, s, OCH₃).

Erythrodiol 3-O-palmitate (7) 無色針状晶. mp 121 – 123 °C. $[\alpha]_D^{23} + 45.9^\circ$ ($c=0.500$, CHCl₃). HR-EI-MS m/z : 680.6080 (M⁺, Calcd for C₄₆H₈₀O₃; 680.6107). ¹H-NMR (400 MHz, CDCl₃) δ: 0.865, 0.869, 0.875 (each 3H, s, H₃-23, H₃-24, H₃-30), 0.881 (3H, t, $J = 7.0$ Hz, H₃-16'), 0.89 (3H, s, H₃-29), 0.94 (3H, s, H₃-25), 0.96 (3H, s, H₃-26), 1.16 (3H, s, H₃-27), 2.29 (1H, t, $J = 7.3$ Hz, H-2'), 3.22 (1H, d, $J = 11.0$ Hz, H-28A), 3.55 (1H, d, $J = 11.0$ Hz, H-28B), 4.50 (1H, dd, $J = 8.3, 5.6$ Hz, H-3), 5.19 (1H, m, H-12). ¹³C-NMR (100 MHz, CDCl₃) δ: 14.1 (C-16'), 15.6 (C-25), 16.74 (C-24), 16.76 (C-26), 18.2 (C-6), 22.0 (C-16), 22.7 (C-15'), 23.5 (C-2), 23.58 (C-30), 23.59 (C-11), 25.2 (C-3'), 25.5 (C-15), 25.9 (C-27), 28.0 (C-23), 29.2 – 29.7 (C-4' – C-13'), 30.95 (C-22), 31.03 (C-20), 31.9 (C-14'), 32.5 (C-7), 32.2 (C-29), 34.1 (C-21), 34.9 (C-2'), 36.9 (C-10), 37.0 (C-17), 37.8 (C-4), 38.3 (C-1), 39.8 (C-8), 41.7 (C-14), 42.4 (C-18), 46.4 (C-19), 47.5 (C-9), 55.3 (C-5), 69.7 (C-28), 80.5 (C-3), 122.3 (C-12), 144.2 (C-13), 173.7 (C-1').

3-O-β-D-Glucopyranosylbenzoic acid methyl ester (8) 無晶形粉末. $[\alpha]_D^{26} - 46.6^\circ$ ($c=0.0644$, MeOH). FAB-MS: m/z : 315 [M + H]⁺, 337 [M + Na]⁺. ¹H-NMR (600 MHz, CD₃OD) δ: 3.71 (1H, dd, $J = 12.1, 5.5$ Hz, H-6'A), 3.89 (1H, dd, $J = 12.1, 2.2$ Hz, H-6'B), 3.89 (3H, s, OCH₃), 4.94 (1H, d, $J = 7.7$ Hz, H-1'), 7.35 (1H, ddd, $J = 8.1, 1.8, 1.1$ Hz, H-6), 7.40 (1H, dd, $J = 8.1, 7.7$ Hz, H-5), 7.67 (1H, ddd, $J = 7.7, 2.2, 1.1$ Hz, H-4), 7.72 (1H, dd, $J = 2.2, 1.8$ Hz, H-2). ¹³C-NMR (150 MHz, CD₃OD) δ: 52.7 (COOCH₃),

62.4 (C-6'), 71.3 (C-4'), 74.9 (C-2'), 78.0 (C-5'), 78.2 (C-3'), 102.4 (C-1'), 118.7 (C-2), 122.6 (C-4), 124.4 (C-6), 130.7 (C-1, C-5), 159.2 (C-3), 176.8 (COOCH₃).

謝辞 本研究に当たり, MS 及び NMR スペクトルを測定して頂いた本学中央機器室の方々に深謝致します.

REFERENCES

- 1) Part 2: Kikuchi Masaf., Kikuchi Masao, *Chem. Pharm. Bull.*, **53**, 48 – 51 (2004).
- 2) Kikuchi Masaf., Kikuchi Masao, *Chem. Pharm. Bull.*, **52**, 1210 – 1214 (2004).
- 3) Basnet P., Kadota S., Shimizu M., Namba T., *Planta Med.*, **60**, 507 – 511 (1994).
- 4) Tomita Y., *J. Chem. Soc. Jpn.*, **82**, 505 – 508 (1961).
- 5) Asahina Y., Asano J., Ueno Y., *Yakugaku Zasshi*, **62**, 22 – 26 (1942).
- 6) De Lampasona M. E. P., Catalan C.A. N., Gedris T. E. Hert W., *Phytochemistry*, **49**, 2061 – 2064 (1998).
- 7) Wrzeciono U., Zaprutko L., Budzianowski J., Wojtowicz H., Dubowska D., *Magn. Reson. Chem.*, **25**, 223 – 226 (1998).
- 8) Seo S., Tomita Y., Tori K., *Tetrahedron Lett.*, 7 – 10 (1975).
- 9) Caputo R., Mangoni L., Monaco P., Previtera L., *Phytochemistry*, **13**, 2825 – 2827 (1974).
- 10) Toriumi Y., Kakuda R., Kikuchi Masaf., Yaoita Y., Kikuchi Masao, *Chem. Pharm. Bull.*, **51**, 89 – 91 (2003).
- 11) Kakuda R., Kikuchi M., *Tohoku Yakka Daigaku Kenkyu Nempo*, **45**, 127 – 134 (1998).
- 12) Rastrelli L., Caceres A., Simone F. D., Aquino R., *J. Agric. Food Chem.*, **47**, 1537 – 1540 (1999).
- 13) Isimaru K., Sudo H., Satake M., Shimomura K., *Phytochemistry*, **29**, 2823 – 2825 (1990).